



“ひろしまそだち” だより

発行 平成13年2月27日

ひろしまそだち特産化推進協議会

事務局 財団法人広島市農林業振興センター
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30-12
TEL (082) 845-4376 FAX (082) 842-2149

第7号

<http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/>

21世紀は「環境にやさしく」があらゆる生産活動のキーワード。ひろしまそだち特産化推進においても、良質堆肥を用いた土作りや雨よけ栽培により農薬や化学肥料の節減に努め、「環境にやさしい」農業に取り組まなければなりません。今後とも“ひろしまそだち”の取り組みは認証・作り保証の充実を図るとともに、生産・流通・消費の連携を深め新鮮で安全でおいしい地場産ブランドとして評価が高まるようがんばりましょう。

内 容

無農薬栽培認証 P1
さらに進んだ今年の“ひろしまそだち”
開発、生産 P2
流通、消費・PR P3
ひろしまそだち減農薬・無農薬栽培認証基準 P4
(米の部)

ひろしまそだち特産化推進協議会
会長 藤原 郁志

無農薬栽培認証

平成12年2月に認証基準を作り、今年度は9戸が認証を受けました。

コマツナ等



奥田一成さん、奥田耕司さん（佐伯区石内）

コマツナ等



飯田澄雄・悦子さん（東区矢賀）

ダイコン等



溝上勝人さん（安佐北区可部）

コマツナ等



川手律郎さん（安佐北区口田）

トマト



中ノ殿秀壮さん（安佐北区深川）

トマト



山木戸甲太郎さん（安佐北区狩留家）

トマト



百目正美さん（安佐北区狩留家）

トマト



向井久子さん（安佐北区深川）

—“ひろしまそだち”特産化事業とは—

安全・高品質・栽培方法など、特長ある農畜産物の開発・普及をし、生産・流通・消費まで一体となった販売対策を行うことにより生産者には高付加価値農業の展開を、消費者には信頼のおける農畜産物の提供を目的とし、関係機関が一体となって推進している事業です。

開発

新品種の導入や栽培方法の改善などにより個性的な産品を開発しています。



丸おくら
さやが丸くて柔らかい



晩酌茶豆
強い匂いと甘味が特徴



四川、かおり(キュウリ)
昔なつかしい味



大田カブ
花茎を漬物や炒め物にする



笹木三月子
広島市の安古市で生まれた
3月どりだいこん



ハナヤナギ
スミセブン(40ppm)散布で
矮化、花数増加し鉢花に適す



ウワバミソウ
杉林の下で栽培可能
夏の山菜として利用できる

生産

おいしさ、なつかしさ、安全等消費者の嗜好に合った産品を生産しています。



日本種ほうれん(温品ほうれん)復活
(安佐北区安佐地区)



葉までおいしい赤ネギ
(安佐北区白木地区)



ビリッとした葉わさび
(安佐北区安佐地区)



作業の楽なイチゴの高設栽培
(佐伯区石内地区)



優良繁殖雌和牛2世誕生
(安佐北区白木地区)



甘味の乗った冬の露地野菜
(安佐北区白木地区)

流通

消費者が安心して求めることができるよう、生産者の顔が見える方法により新鮮で安全な農産物を提供しています。

安全



農彩館減農薬コーナー設置
(佐伯区)
グループ40人で取組む



無農薬野菜
(律郎さんの甘こまつな)
川手律郎
(安佐北区口田地区)



無農薬野菜
奥田一成
(佐伯区石内地区)



朝どり無農薬トマト
(安佐北区高陽地区4人)



減農薬野菜
三姉妹生産グループ
(安佐北区安佐・可部地区)

産直

今年度新規に開設した直売所



アムケット沼田
(安佐南区沼田町伴)
岩森憲雄 54人1グループ
開市
火・木・土・日
8:30~12:00



三田レディース朝市
(安佐北区白木町上三田)
吉岡恭子 33人
開市
第1・3・5水曜日
8:30~10:00



コープ矢野東店前朝市
(安芸区矢野東)
岡崎次信 11人
開市
日曜日
10:00~13:00



下三田地区農産物直売所
(安佐北区白木町下三田)
山手英雄 15人
開市
土曜日
7:30~10:00



朝どり出荷

とまと、きゅうり、なす、えだまめ
生産者: 安佐南区川内地区 11人
店舗: 市内 7店
実施期間: 6月22日~8月12日

消費・PR

いろいろな方法で消費者にひろしまそだちを知っていただくよう努めています。



ブドウ出荷箱 (安芸区瀬野川地区)



野菜用シール (安佐北区安佐地区)



おろしダイコン雪美人出荷専用袋
(広島市全域)

新規にひろしまそだちマーク入りで出荷



フードフェスタ広島2001
ひろしまそだち部会として参加



ひろしまそだちクッキング教室開催
市内5箇所の公民館で開催 104人参加



意見交換会 (2月6日)
生産者と消費者が
米・加工品の試食・意見交換

テレビ放映



安佐町生砂地区
12月19日放映



白木町下井原地区
1月13日放映



瀬野川上瀬野地区
11月11日放映



白木町6戸
11月11日放映



安佐町小河内地区
1月18日放映







安佐町野原地区
1月30日放映

TSS 話題新鮮六平です

RCC 知れば知るほど

RCC ときめきストリート

ひろしまそだち減農薬栽培・無農薬栽培認証基準（米の部）

項目		減農薬栽培	有機質肥料・減農薬栽培	無農薬栽培	有機質肥料・無農薬栽培
基本事項	栽培者の基本事項	①農家及び農地を登録する。 ②栽培計画を提出する。 ③栽培内容（農薬散布・施肥管理）を記録する。 ④登録農地に看板を設置する。			
	表示方法	出荷袋に認証マークを表示する。			
有機質肥料等	使用できる有機物の種類	内容	有機農産物の日本農林規格 別表1に合致するもの。 系統扱いの資材を基準とし、それ以外の物については協議会で認めたもの。		
		堆肥	毎年1トン/10a以上施用する。		
	有機質肥料	30%以上	100%	30%以上	100%
	土壌改良剤	土作りにつとめ、各地区技術部会が指示する量を投入する。			
農薬の使用	使用できる農薬の種類・方法	「病虫害防除基準・除草剤使用基準」（広島県）に定めた農薬とする。 有機農産物の日本農林規格 別表2に含まれるものは回数に加えない。			
		1作当たり成分回数で9回以内とする。	0回		
栽培のポイント	土作り対策	堆肥の施用（1t以上/10a）と深耕（15cm以上）とする。			
	健全な苗作り	健苗を粗植する。			
	害虫の発生対策	病虫害発生予察を利用する。			
	減農薬・無農薬対策	耕種防除を励行する。			
認証マーク		 減農薬栽培 ひろしまそだち特産化推進協議会	 有機質肥料減農薬栽培 ひろしまそだち特産化推進協議会	 無農薬栽培 ひろしまそだち特産化推進協議会	 有機質肥料無農薬栽培 ひろしまそだち特産化推進協議会